

第 1443 回例会報告

会長挨拶

会長 御子柴文夫

自らの歴史文化を把握して Identity を確立しよう。

最近の報道に親が幼児を殺して逮捕された等をはじめ憂いある出来事が多々あります。本来、身近な間柄では親しみ合い譲り合い守りあって社会を造っています。家庭から地域から世界まで信頼が失われた社会の現れかとも不安に思います。

しかし諏訪の地では不平不満を譲り合って団結して行われる祭りの年となりました。4月の諏訪大社から秋の小宮そして翌年の小野神社まで御柱祭が執り行われます。

諏訪地域外では命がけでやる祭りに喝采と共に疑問視も聞こえてきます。

同じ郷土で育ち歴史と文化を共有している者にとっては疑問視しない事柄も文化が異なると理解できない異常な事柄と判断される様です。

とはいえ岡谷市照光寺そばに私も監事を努めている金山神社があります。この神社は新潟県の金山神社から昭和の時代に分霊して頂き主として工業関係者が集まり祀っている神社です。

本山は御柱と関係ないのですが岡谷の金山神社は11月に直径1メートル程の御柱を4本曳行し建御柱を行います。新潟の方から見れば疑問視するのも真のことと思います。

平成28年1月14日(木)晴れ後曇り

自身の持つ歴史文化を把握して考えを確立していないと他の方に思いを伝えることができないと改めて感じます。

30年程前の若かりし頃 山口県の韓国国際交流会長と二人で韓国釜山に子供達の交流事業準備に訪れました。そのとき最初に「戦争責任についての考え」を問われました。生前の出来事ですし歴史も然程考えていなかったため答えに苦慮致しました。交流の前に相手を認めて今までの関係を学ぶことの必要を感じ、特に近世史を学ぶことの必要と重要性を知りました。

本日の例会卓話講師に宮坂パストガバナーをお招きしております。

また交換留学生事業に当クラブが協力することを決定したことから RI2600 若林青少年交換委員長とフランスへ交換留学予定の長野西高校生小出様がお見えになりました。

文化の違う国・民族が平和な未来を創る礎となれることを祈念し、国際ロータリーの中で経験された宮坂パストガバナーの卓話から学び人生を楽しみましょう。

◇幹事報告◇

【理事会報告】

1)2月例会予定につきましては、次ページに記載しました。

2)2月14日(日)1447回例会は、岡谷ロータリークラブ主管の「IM」へ参加となります。

12時ライフプラザ・マリオ登録受付開始

頃出席報告

会員数	38名
出席対象	37名
出席者数	31名
出席率	83.8%
前回修正	89.2%

■ニコニコBOX

5名	6,000円
累計	31,000円
目標額	60万円
達成率	51.6%

■今週のこぼ

みやさかゆうこう
宮坂宥洪パストガバナー様、本日はよろしくお願ひいたします。 蒲地整志

宮坂パストガバナー、若林地区青少年交換委員長、小出木々菜交換留学生予定者、ご来訪有難うございます。当クラブの例会を楽しんでいってください。

御子柴文夫



2015-2016年度 国際ロータリーテーマ
世界へのプレゼントになろう
Be a gift to the world

12時30分インターシティミーティング開会点鐘

- 1. 会員セミナー
- 2. 講演会
- 3. 懇親会

詳細は、再度連絡いたします。

参加可否のFAXに返事を下さい

3) 4月9日御柱祭・大津中央ロータリークラブ
接待等について大筋決まりました。後日参加を要
請いたします。

第1443回例会

職業奉仕卓話例会

宮坂宥洪パストガバナー

職業奉仕委員会

本日は宮坂宥洪パストガバナーをお迎えし「職業奉仕」について卓話をいただきました。

今日お招きした経緯を蒲地職業奉仕委員長から説明していただいた後卓話をいただきました。

大変意義深いお話でしたので、いただいた資料の全文を記載いたします



「国際ロータリー定款第4条 ロータリーの目的」と「四つのテスト」から職業奉仕を考える。

【1】「ロータリーの目的」について考える

国際ロータリー定款第4条「ロータリーの目的」は、2012年までは「綱領」と呼ばれていた。綱領を目的と言い換えた時、訳文も若干改められたが、英語の原文は同じである。

ロータリーの目的(OBJECT OF ROTARY)

「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある」

これを日本語として理解できる人はどのくらいいるでしょうか。例えば自分が訳してみると

⇒宮坂訳:ロータリーの目的は、すぐれた職業人には奉仕という理想的な考え方が基礎にあることを広く知ってもらうようにつとめることである。そのために以下の四点に留意しなければならない。

これで完全にわかりやすいとは思いませんが、正規の訳よりは解りやすいと思います。同じように訳を進めてみると

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること;

⇒宮坂訳:奉仕とはどのようなものであるかという理解を深めること;

月日	曜日	回	例会内容
2月4日	木	1446	岡谷市市長今井竜五様 新春講話
11日	木		休会
14日	日	1447	於：マリオ 諏訪グループ IM
18日	木	1448	社会奉仕関係
25日	木	1449	国際奉仕関係
3月3日	木	1450	青少年奉仕関係

ビジター紹介

次期年度で交換留学生を受け入れることを決めましたが、その交換留学生としてフランスへ留学する小出木々菜(ここな)さんと若林地区青少年交換委員長がお礼のあいさつに見えました。



小出木々菜さんからのご挨拶をいただきました。

元気で勉強してください。

フランスからこちらに見える留学生の資料も届きましたので回覧いたしました。



第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてのロータリアン各自の職業を高潔なものにすること;

⇒宮坂訳:みずからの商道德を向上させると共に、あらゆる有用な職業の価値を認め、社会に華仕するものとして、すべてのロータリアンの職業の尊厳を保つこと;

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること;

⇒宮坂訳:ロータリアンは、私的な生活においても、職業の場においても、地域社会においても、奉仕という理想的な考え方のもとに行動すること;

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること;

⇒宮坂訳:奉仕という理想的な考え方を共有する職業人の世界的組織を通じて、国際理解と国際親善と国際平和の推進に貢献すること。こうしてロータリーの目的を原文で読み直してみると根本に流れるのは「職業奉仕」であることがよくわかると思います。



【2】「四つのテスト」の検討

1932年の恐慌の時、倒産の危機に瀕していた調理器メーカーの再建を要請され社長に就任したハーバード・テイラーは、「四つのテスト」を提案した。同社の業績は改善を続け、やがて株主に配当できるようになった。

1943年に、RI 理事会の認証のもとに、職業奉仕プログラムに組み込まれた。1954年、テイラーがRI 会長に就任した時、その版權をロータリーに委譲した。

四つのテストは、ロータリアンの生き方、姿勢の

ように語られることがあります。あなたがちそれも間違いでないとしても、基本的には「四つのテスト」は職業奉仕プログラムであり、経営哲学であることを忘れてはならないと思います。その見方から「四つのテスト」を検討してみると

四つのテスト

THE FOUR WAY TEST

言行はこれに照らしてから

Of the things we think, Say Or do

1. 真実かどうか

Is it the TRUTH?

2. みんなに公平か

Is it FAIR to all concerned?

3. 好意と友情を深めるか

Will it build GOODWILL And BETTER FRIENDSHIPS?

4. みんなのためになるかどうか

Will it be BENEFICIAL to all concerned?

一番目の「真実かどうか」は、正確には「嘘偽りがないかどうか」です。商取引において、商品の品質、納期、契約条件などに嘘偽りがないかどうか、という意味です。

二番目の「みんなに公平か」は、英語の Concerned (関係者＝業務上の取引先) が訳されていません。「公平」は「平等分配」と勘違いされやすいので、「公正」と解すべきです。「すべての取引先に対して公正であるかどうか」です。

三番目の「好意と友情を深めるか」は、単に「仲良くなる」と言うことではなく、商売上の信用とか評判、のれんの価値を高めるかという意味です。そうした信用にもとづく人間関係を築き上げて、取引先を増やすかどうかを問うものです。

四番目の「みんなのためになるかどうか」は、端的に「儲けになるかどうか」を意味します。儲けることは決して悪いことではありません。問題は、まさしく「みんなが儲かるかどうか」です。これは大切なことです。自分だけが儲かれればよい、という考えではなく、顧客や取引先や従業員など関係者みんなが潤うことが「奉仕の理想」なのです。

根底に流れているのは職業奉仕としての「四つのテスト」であることがお解りになると思います。